

# ■第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果（素案）概要

## I. 第3期中期目標（期間：平成28年度から令和2年度まで）

高度専門医療の提供と府域の医療水準の向上、患者・府民の満足度向上、安定的な病院経営の確立を基本理念とし、政策医療・高度専門医療の充実や地域連携の強化による府域の医療水準の向上、業務運営の改善及び効率化に向けた経営基盤の強化、環境の変化に対応した病院機能の強化に取り組む。

## II. 平成28年度から令和元年度までの業務実績

### 1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上

各年度における 項目別評価	H28	H29	H30	R1
	A	A	A	(案)A

※ A：計画どおり進捗

#### ● 高度専門医療の提供及び医療水準の向上

センター名	主な取組み
急性期C	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害医療訓練や DMAT 研修の実施</li> <li>高度救命救急医療体制の強化</li> <li>大阪府市共同 住吉母子医療センターの供用開始</li> </ul>
はびきのC	<ul style="list-style-type: none"> <li>多剤耐性結核患者等に対する高度専門医療の提供</li> <li>大阪アレルギー疾患医療拠点病院としての専門医療の提供</li> <li>救急受入拡大のための取組を実施</li> </ul>
精神C	<ul style="list-style-type: none"> <li>措置入院・緊急措置入院患者等の受入れ</li> <li>発達障がいの確定診断の実施</li> <li>各依存症治療プログラムや依存症医療研修の実施</li> </ul>
がんC	<ul style="list-style-type: none"> <li>難治性、進行性、希少がん患者も含めたがん患者に対する集学的治療の提供</li> <li>がんゲノム医療拠点病院に指定</li> <li>重粒子線センターとの連携に向けた取組の実施</li> </ul>
母子C	<ul style="list-style-type: none"> <li>新生児や胎児に対する高度専門医療を提供</li> <li>重篤小児患者受入体制を強化</li> <li>大阪府移行期医療支援センターの設置</li> </ul>

- 新型コロナウイルス感染症の検査や入院治療受入を実施、熊本地震や新型コロナウイルス感染症発生に伴い、国の要請に応じて他府県への DMAT、DPAT を派遣
- 優れた医療スタッフ確保、高度医療機器整備、地域医療機関との連携強化

#### ● 患者・府民満足度の向上

- 外来及び入院の患者満足度調査、接遇研修、院内環境の整備等の実施
- 診療待ち状況システムや後払いクレジット決済システムの導入等、外来待ち対策の実施

### 2 業務運営の改善及び効率化

各年度における 項目別評価	H28	H29	H30	R1
	A	A	A	(案)A

※ A：計画どおり進捗

#### ● 自律性・機動性の高い組織体制の確立

- 多様な勤務形態の運用等、働きやすい職場環境整備の実施

#### ● 経営基盤の安定化

- 地域医療機関との連携強化による新入院患者の確保、診療・看護体制の充実や施設基準の積極的な取得による診療単価の向上等、収入確保の取組の実施
- 材料費の削減や給与費の適正化による費用抑制の取組の実施

#### 【新入院患者数】 (人)

センター名	H28	H29	H30	R1	中期計画
急性期C	20,010	20,483	22,175	23,649	19,600
はびきのC	9,183	9,862	10,313	10,266	10,160
精神C	890	955	1,111	1,135	1,030
国際がんC	11,711	13,226	13,925	14,503	13,195
母子C	10,124	10,812	10,813	10,998	9,680

#### 【医業収支比率】 (%)

	H28	H29	H30	R1	中期計画
法人全体	91.9	92.1	92.5	93.4	92.4

## III. 第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果

新型コロナウイルス感染症の影響により、最終的な目標の達成については不透明な状況であるものの、令和元年度までの実績は、全体として目標を十分に達成する見込みのものである。

引き続き、患者及び府民の信頼と期待に的確に応え、その社会的使命を果たすために、府域の医療水準の向上に向けた投資を行いつつ、各センターにおける医療サービスの向上を支える機構の経営基盤の更なる強化に取り組んでもらいたい。

今後、施設や医療機器の老朽化対策等により経営が圧迫されることも想定されるため、一層の経営改善に取り組むとともに、国や地方全体をあげての地域医療構想の推進や、医師・医療従事者の働き方改革及び医師偏在対策などの動きにも的確に対応してもらいたい。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、病院運営は不透明な状況であるものの、引き続き、新型コロナウイルス感染症対応にあたっては、大阪府及び関係機関と連携しながら、府域における中核的医療機関として先導的役割を担ってもらいたい。

第3期中期目標期間終了時の項目別見込評価	
1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上	A
2 業務運営の改善及び効率化	A

※ A：目標通り達成する見込